

令和3年度 畜産臭気測定結果

1 調査の目的

市内臭気環境の改善を図るため、すべての事業所（養豚場）において、作業と臭気指数の関係性を詳細に調査し、臭気発生抑制対策を事業者とともに検討するための基礎資料を得ること

2 実施内容

臭気指数及び特定悪臭物質6項目の測定

3 実施日

1回目…令和3年8月30日～9月8日

2回目…令和3年10月13日～21日

4 測定結果

ア 臭気指数の基準値を超過した事業所…全10事業所のうち8事業所が超過
 <基準値を超過した事業所>

調査事業所	臭気測定	超過事業所数
横型堆肥化施設 6事業所	攪拌開始30分前	1事業所
	攪拌開始30分後	3事業所
	攪拌終了30分後	2事業所
	攪拌終了1時間30分後	2事業所
縦型堆肥化施設等 4事業所	糞尿投入時	2事業所
	糞尿投入完了1時間後	3事業所
	その他	1事業所

(調査結果)

- ・攪拌作業と臭気指数に相関性は具体的に現れず、常に臭気が発生している。
- ・密閉型の縦型堆肥化施設を持つ事業所からも臭気が発生している。
- ・同じ事業所でも1回目と2回目で測定値に違いが見られた。
- ・気温と湿度との関係性は確認できなかった。

裏面に続く

イ 特定悪臭物質が検出された事業所…全 10 事業所のうち 9 事業所で検出

<検出された項目>

項目	事業所数
アンモニア（し尿のような臭い）	9 事業所
硫化水素（腐った玉ねぎのような臭い）	3 事業所
トリメチルアミン（腐った魚のような臭い）	0 事業所
ノルマル酪酸（汗臭いにおい）	6 事業所
ノルマル吉草酸（むれた靴下のような臭い）	4 事業所
イソ吉草酸…（むれた靴下のような臭い）	2 事業所

（調査結果）

- ・糞尿の腐敗による悪臭物質の発生が考えられる。
- ・糞尿の処理（脱臭）が十分でないことが考えられる。

5 測定結果からわかること

- ・堆肥の攪拌が臭気発生の原因と考えていたが、攪拌に関係なく臭気が高かったり、密閉式である縦型の施設でも臭気が高い。
- ・特定悪臭物質の調査では、アンモニアや硫化水素などが検出された。この物質は、主に糞尿の発酵により発生するため、糞尿の処理や畜舎の清掃などの状況も臭気発生の要因であると考えられる。
- ・2回の調査を行い、臭気指数が高くない事業所もあるため、各施設ごとの作業の比較などが必要であると考ええる。